

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年10月22日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年10月22日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	【窒素ガス分離装置(A)空気貯槽安全弁からの空気漏れについて】 窒素ガス分離装置(A)空気貯槽安全弁から微量の空気漏れを確認。 窒素ガス分離装置(A)を待機状態に変更。当該弁の点検予定。 1～3号機への窒素封入流量に異常なし。	GⅢ
2	【5号機非常用ガス処理系トレイン連絡弁開度計不良について】 5号機非常用ガス処理系のトレイン連絡弁の中央制御室ランプ表示が「全開」表示にもかかわらず、現場開度計の指示が「全開」を指示していないことを確認。 当該弁の点検予定。 弁の開閉動作および機能上の問題なし。	GⅢ
3	【2号機ダストモニタ(Ch1, 2)ダスト濃度監視不能について】 2号機西側構台前室内に設置しているダストモニタ(Ch1, 2)が「ろ紙送り異常」および「ろ紙切れ」警報を発報し、ダスト濃度の監視が不能となった。 2号機西側構台前室内で作業は未実施、他のダストモニタ(Ch3～5)およびモニタリングポスト近傍のダスト濃度測定値に異常なし。 ろ紙交換を実施し、ダスト濃度の監視が可能となった。	GⅢ